

# 博士課程教育リーディングプログラム 平成29年度プログラム実施状況報告書

採択年度	平成23年度		
機関名	大阪大学	全体責任者（学長）	西尾 章治郎
類型	オールラウンド型	プログラム責任者	小林 傳司
整理番号	A02	プログラムコーディネーター	藤田 喜久雄
プログラム名称	超域イノベーション博士課程プログラム		

## <プログラム進捗状況概要>

### 1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムは、様々な「境域」を超えて社会システムの変革を導くイノベーション、すなわち、超域イノベーションを実現するための高度な専門力とそれを超域することによって様々な分野で活用するための汎用力に支えられた知的体力と勇気を持つグローバルリーダーとなる博士人材を養成することを目的とする。本学では、総合的な知を創出し希望ある未来を切り拓くことこそが大学の使命であり、大学が担うべき真の意味でのイノベーションへの貢献であるとの考え方のもと、多様な知の協奏により卓越した知を共創し、社会や世界に還元していくことを目指している。本プログラムは、それに向けた取組の一つであり、学士課程から博士課程に至る多様な教育への反映をも展望しつつ、全学体制で強力に推進し、発展させていく。

### 2. プログラムの進捗状況

- ・ 六期生15名を受け入れ、コア科目群、知識・教養系科目群、展開力系科目群、言語科目群、アクティビティ科目群からなる独自のコースワークや諸活動を実施した。1年次から2年次の履修生には、当該分野のエッセンスを学び取るモジュール科目や海外でのフィールドスタディ、3年次生には、社会課題の解決にチームで挑み汎用力を具体化させる「超域イノベーション総合」、4・5年次生には、各履修生が社会のフィールドに赴き課題発見や課題解決に挑むことにより専門力や汎用力をより強固なものにする「超域イノベーション実践」などの特徴的な科目を継続して実施した。
- ・ 履修生の自主的活動支援の枠組みとして「独創的教育研究活動経費」を運用し、32件の取り組みを支援して、履修生の企画力や実践力等を高めた。
- ・ 履修生のキャリアイメージを具体化するために、先駆者を招いた座談会形式による「フューチャーリーダーズ・フォーラム」を3回開催した。
- ・ 学界3名、産業界3名からなる外部評価委員会を組織し、1月にその第六回の評価委員会を実施するなどし、プログラムの進捗を自ら評価確認した。
- ・ 最終シンポジウムを1月に開催し、社会にプログラムの意義を問いかけ、産官民との連携や協働、履修生のキャリアパス開発への足掛かりとした。

（機関名：大阪大学 類型（領域）：オールラウンド型 プログラム名称：超域イノベーション博士課程プログラム）